

甲賀市人権に関する市民意識調査 調査結果【概要】

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

人権尊重のまちづくりを推進するための「甲賀市人権に関する総合計画」の策定にあたり、市民の人権についての考えや意見を伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査内容は、人権全般の課題や個別的課題の解決のために必要なこと、人権啓発を進めるために必要なこと等についてです。

(2) 調査方法

調査対象者	市内にお住まいの18歳以上の人
抽出方法	無作為抽出
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収
調査基準日	平成27年10月1日
調査期間	平成27年11月14日～平成27年11月30日

(3) 回収結果

配布数	有効回答数	有効回答率
2,500	1,039	41.6%

2. 調査結果の概要《考察》

【全体の傾向】

- 市民意識調査全体を通して、性別では、人権侵害を受けた経験、それに対する相談の有無で差異があるものの、考え方では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年齢層の高い方と若年層で考え方に、差異がみられる。例えば、子どもの人権をこれまで以上に啓発すべきは、若年層で高く、高齢の方で低くなっている。

【人権尊重のまちの実現】

- 人権が尊重されるまちになっているかとの問いには「いちがいにはいけない」や「どちらかといえばそう思わない」「そうは思わない」の合計が多い。

人権が尊重されるまちの実現に向けて、教育・啓発等の様々な施策を実施していく必要がある。(P5 問4)

【人権を侵害された内容】

- 職場・地域・家庭など、身近な生活の場面で人権侵害が起きており、その内容は、「あらぬうわさ、悪口を言われた」「ハラスメントを受けた」が多いことから、地域や職場が主体となって、身近な生活の場面で人権侵害が起こらないよう、予防や啓発に取り組む必要がある。また、学習会などで学んだことを、自分のこととして実践することが大切である。(P7 問6)

【人権啓発】

- ここ3年以内の、人権に関する学習会の参加の状況では、多くの方が人権に関する学習会に参加していない状況である。啓発や学習会の内容や方法を工夫し、参加者を増やす取り組みが必要である。(P75 問22)

【人権学習と人権意識】

- 人権に関する学習会への参加経験がある方は、人権の意識が高いことがうかがえ、教育・啓発による効果が分かる。生涯にわたって、あらゆる機会において学びを提供できるよう、今後の教育・啓発のあり方についての検討が必要である。(P42 問11 P91 問27)
- 学習会に参加したことがある人の年齢層は、50歳代、60歳代が多く、若年層で低くなっている。幅広い層を対象にした、人権に関する多様な学習機会の充実を図る必要がある。(P75 問22)

【新たな人権課題】

- インターネットによる人権侵害について、29歳以下でインターネットによる差別書き込みを見たことがある方が多い。また、これまでに以上に啓発すべきと考える方が多い。今後、教育や啓発の課題として、インターネットによる人権侵害を更に取り入れていく必要がある。(P56 問13 P21 問10)